

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 環境課				内線等	1272
事務事業名	生し尿・浄化槽汚泥適正処理事業					事業コード	4. 維持管理事業	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					A 法令		

総合計画での位置付け

基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	廃棄物
------	-----------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市及び幸田町の住民
手 段	浄化槽汚泥及び生し尿を処理する「清幸園」を運営し、蒲郡市分の負担をすることにより
想定する成果	周辺の衛生及び河川、海域の水質浄化がもたらされる

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
蒲郡市負担金	128,446千円	135,953千円	128,812千円
蒲郡市分搬入量	17,255kl	16,816kl	16,391kl

成果指標

成果指標名	施設運営費の推移	蒲郡市の負担金割合
成果指標の説明	施設改修に向け、設備に支障がない範囲で修繕を抑えるように努めている	蒲郡市負担金 / (蒲郡市 + 幸田町負担分)

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		157,026千円				142,716千円				149,687千円			
成果指標		63.0%				64.4%				65.2%			
事業費	事業費	128,446				135,953				128,812			
	人件費	18,483				18,501				12,748			
	(人数)	正規	2.3	非常勤		正規	2.3	非常勤		正規	1.3	非常勤	1.0
	合計	146,929				154,454				141,560			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	146,929				154,454				141,560			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	2	2	日常のし尿処理業務を継続しながら、改修後の施設処理計画を検討している。
経済効率性	2	2	2	2	経費節減を図るため、運転管理の見直しなどを実施しているが、幸田町の下水道整備の進展が早く、蒲郡市の負担割合が高くなっている。
事務効率性	2	2	2	2	
必要性	3	3	2	3	し尿処理業務は、環境衛生上欠かせない業務であり、三河湾の水質浄化にも貢献している。
小計	10	10	8	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	12	10	10	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	幸田町に比較して下水道の進展が遅く、負担率が増加している。適切な処理及び効率的な経費運用のため、業務の見直しを実施している。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
施設改修を通じて、汚水を下水道に接続し、施設を簡素化して経費の節減を図る。また、汚泥焼却についても、クリーンセンターでの焼却を目指す。
上記改善点の実施状況
施設改修に向け、H19年度に実施設計業務委託、H20～21年度に工事、H21年度末までに下水道に接続予定。また、脱水汚泥についても、H21年度末までに受入工事が完了し、クリーンセンターでの焼却が可能となる。

今後さらに改善すべき点

施設の簡素化に伴い、処理場施設維持管理業務に従事する人員も削減する必要がある。

平成21年度予算に反映する項目

施設改修のための工事費及びクリーンセンター汚泥受入施設使用料相当額

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

